



株主通信

平成26年3月期報告書
平成25年4月1日～平成26年3月31日



株主の皆様へ



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに平成26年3月期の株主通信をお届けします。

当社グループは、平成28年(2016年)3月期を最終年度とする第五次中期経営計画「RISO Vision 16」を策定し、全世界での販路拡充と新規顧客の獲得に取り組んでおります。中期経営計画の初年度となる当期は、インクジェット事業の好調、為替の円安影響、国内の消費税引上げ前の特需が寄与し、売上高は2期連続の増収となり、営業利益も増益となりました。最重要課題である海外事業の拡大については、為替を除いた実力値ベースで3期ぶりの増収となりましたが、利益面にはまだ課題もあり、引き続き販売体制の強化に努めてまいります。

当期は新たな開発拠点として「理想開発センター」が開所しました。これまでの開発拠点を集約し、新たな体制で独自の製品・サービスの開発に取り組んでおります。生産拠点では、本年3月にタイ・アユタヤにロジヤナ工場が完成し、4月から生産を開始しました。

当期の配当金につきましては前期より5円増配し、1株当たり60円とさせていただきます。株主の皆様には今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月
代表取締役社長
羽山 明

第五次中期経営計画 RISO Vision 16

(平成25年4月1日～平成28年3月31日)

経営目標

個の発想と実行力によって企業活動を活性化し、
全世界で販路拡充と新規顧客の獲得を実行する

数値目標

連結売上高: 860億円

連結営業利益: 70億円

ROE: 7%

(※前提とする為替レート:
1米ドル90円、1ユーロ116円)

重点項目

- (1) 海外の販売企画を強化し、事業の拡大を図る
- (2) インクジェット事業の販路拡大と充実を図り、新規ハード設置を増やす
- (3) 孔版事業の顧客管理を強化し収益基盤を維持する
- (4) 将来をにらみ新たな生産体制をつくる
- (5) 新規事業創出に挑戦する
- (6) 事業参画意識を高め、常にチャレンジする社風をつくる

平成27年3月期経営方針

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

- (1) 販路拡充と新規顧客の獲得を推進し、MIF(市場設置台数)増加に傾注する
- (2) 健全な海外販売体制を構築し、売上の拡大・利益の拡大を実現する
- (3) 生産拠点を再編成し、新たな生産体制に移行する
- (4) 新規事業創出に挑戦する
- (5) 社員の能力向上に焦点をあて、事業をけん引する社員の育成を行なう



トップメッセージ

全世界で市場設置台数の増加に注力する

第五次中期経営計画「RISO Vision 16」の初年度となる当期(平成26年3月期)実績や今後の方針などについて社長の羽山明がご説明いたします。



代表取締役社長 羽山 明

売上高839億円、前期比11.2%増

当期の業績は、売上高が前期比11.2%増の839億円、営業利益が同34.2%増の65億円、当期純利益が同5.1%減の45億円となりました。

売上高は、為替が円安に推移する中、インクジェット事業で新製品の販売が国内外ともに好調に推移したこと、消費税率引き上げ前の特需などにより増加しました。これにより営業利益も増益となりました。当期純利益については、前期には繰延税金資産の回収可能性の判断基準見直しに伴う「法人税等調整額」を計上したため当期純利益が増加しましたが、当期はこのような調整がなかったため減益となりました。

海外売上高比率は前期に比べ4.8ポイント増加し、40.3%となりました。インクジェット事業の売上高構成比は40%となりました。

販路の拡充と事業の拡大を目指す

当期は、4つの経営方針を掲げて運営してまいりました。ひとつ目の「新規市場・新規顧客の獲得をグループ全体で推進する」では、オルフィス新シリーズを武器に販路を拡充し、事業の拡大につなげました。

「海外の販売管理・販売企画機能を強化し、海外事業の拡大を図る」については、オルフィス新シリーズの海外発売を機に、全世界で販売体制と販促活動をより一層強化し、グローバル市場の開拓を目指しました。その結果、インクジェット事業を中心に海外での売上増を達成することが

できました。利益面での課題はまだ残っておりますが、今後も販売体制を強化し、海外事業拡大を推進いたします。

「理想開発センターを効率的に活用し、開発を加速する」については、昨年6月、茨城県つくば市に開発拠点を集約し、新たな体制を整えました。「RISO Vision 16」の重点項目のひとつである、新規事業創出に挑戦してまいります。

そして「生産拠点最適化に向けた基盤づくりを実施する」では、本年3月にタイ・アユタヤの新工場が竣工し、4月より生産を開始しました。孔版事業のハード生産を中国とタイで行い、安定供給に努めております。

好評のオルフィス新シリーズ

インクジェット事業は、昨年1月にオルフィスの新シリーズを発売し、5月に海外での販売も開始しました。最大の特長である高速性、経済性に加えて、新シリーズでは拡張性を高め豊富なラインアップを取り揃えました。国内外で高い評価を得て新たな用途開拓につながっております。今後も積極的に拡販に努めていきます。

孔版事業では、昨年11月に、海外の印刷業向けにA2対応デジタル印刷機の販売を開始。今年5月には、デジタル印刷機の上位ラインアップを一新し、世界各国での販売を開始しています。

新規市場・新規顧客の獲得に注力

次期(平成27年3月期)は、5つの経営方針(P2参照)を設定し、引き続き全世界で新規市場・新規顧客の獲得に注力していきます。

各地域で市場設置台数の増加に努めるとともに、海外販売子会社の販売力の強化と財務体質の改善に取り組み、収益の拡大を目指します。また、生産面についても、中国とタイの2拠点体制の確立に加え、この5月からは筑波事業所でのオルフィスの消耗品の生産を開始しました。

営業成績を反映させた利益配分を

当社の利益配分は、「企業体質を強化しつつ業績に裏付けられた成果の配分を行うこと」と「安定配当の継続に努めること」を基本方針としています。また、自己株式の取得・消却も利益還元のひとつと考え、株価水準や市場動向を考慮しながら実施しています。

現中期経営計画「RISO Vision 16」期間中の利益配分については、基本方針をふまえた上で営業成績を反映させ、営業成績が好調の時には利益配分を増加する考えです。

当期は総額50億円の自己株式の取得を行いました。期末配当金は、前期から5円増配し、1株につき60円とさせていただきます。



事業概況(連結)

当期の業績概況

インクジェット事業の好調、為替影響により 2期連続の増収増益

当社グループは、平成28年3月期を最終年度とした第五次中期経営計画「RISO Vision 16」を策定し、全世界で販路拡充と新規顧客の獲得を実行することを中期的な経営方針に掲げて運営しております。初年度となる当期は、国内、海外でインクジェット事業の販路拡充に取り組み、新規設置を進めました。全体の売上は、国内外で増加し2期連続の増収となり、営業利益も増益となりました。これらの結果、売上高は839億3千8百万円(前期比11.2%増)、営業利益は65億8千8百万円(同34.2%増)、経常利益は71億9千2百万円(同30.5%増)、当期純利益は45億7千8百万円(同5.1%減)となりました。

当連結会計年度の期中平均為替レートは、1米ドル100.24円(前期比17.14円の円安)、1ユーロ134.37円(同27.23円の円安)となりました。

次期の見通し

新規市場の開拓と海外事業の収益拡大を進め、売上高860億円を目指す

当社グループは、引き続き全世界で新規顧客の獲得に注力し、販路の拡充と用途開拓に努めてまいります。また、海外事業においては収益拡大に向け販売体制を強化します。

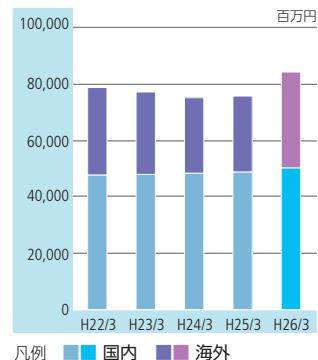
次期の売上高は860億円(前期比2.5%増)を見込んでいます。利益面では、研究開発費や人件費など販売費及び一般管理費が増加する見通しにより営業利益は65億円(同1.3%減)、経常利益は65億5千万円(同8.9%減)、当期純利益は44億円(同3.9%減)を見込んでいます。

業績見通しにおける為替レートは、1米ドル102円、1ユーロ138円を前提としております。

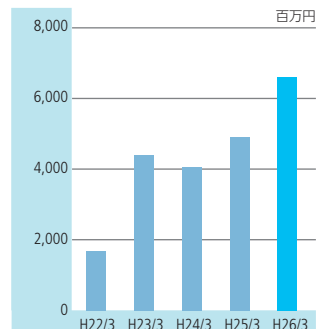
(注)記載金額は、表示金額未滿を切り捨てて表示しております。

連結業績ハイライト

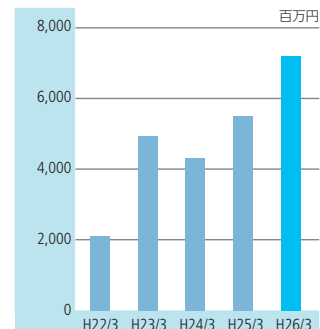
売上高



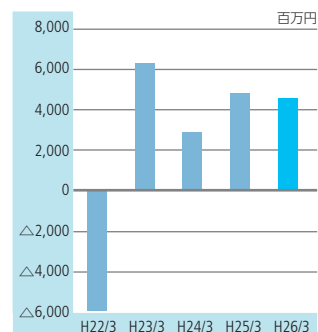
営業利益



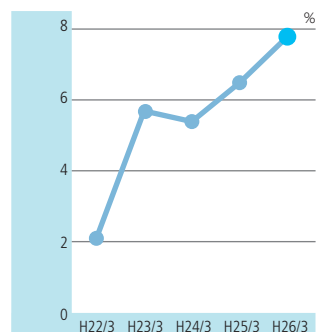
経常利益



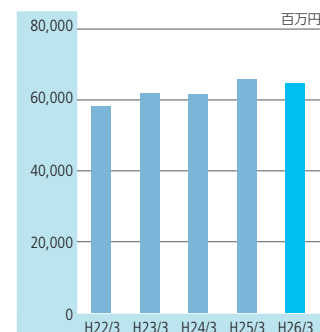
当期純利益・損失



売上高営業利益率



純資産



		平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期
売上高	(百万円)	78,469	76,897	74,847	75,455	83,938
国内	(百万円)	47,562	47,758	48,196	48,637	50,077
海外	(百万円)	30,907	29,138	26,651	26,817	33,861
営業利益	(百万円)	1,669	4,406	4,050	4,910	6,588
経常利益	(百万円)	2,113	4,939	4,309	5,512	7,192
当期純利益・損失	(百万円)	△5,937	6,288	2,886	4,827	4,578
売上高営業利益率	(%)	2.1	5.7	5.4	6.5	7.8
純資産	(百万円)	58,275	62,095	61,825	66,033	64,804



財務諸表の概要(連結)

貸借対照表

(資産の部)

(単位:百万円)

科 目	前期	当期
	平成25年3月31日	平成26年3月31日
流動資産	53,429	47,780
●現金及び預金	13,901	12,899
受取手形及び売掛金	14,936	15,596
●有価証券	8,987	2,876
たな卸資産	12,211	12,633
その他	3,683	4,112
貸倒引当金	△ 291	△ 338
固定資産	42,022	43,960
有形固定資産	30,323	32,742
●建物及び構築物	5,624	9,221
機械装置及び運搬具	1,024	829
土地	17,129	17,071
その他	6,544	5,620
無形固定資産	5,636	4,586
のれん	1,344	679
ソフトウェア	2,404	2,232
その他	1,887	1,674
投資その他の資産	6,062	6,631
投資有価証券	1,824	1,945
その他	4,296	4,747
貸倒引当金	△ 58	△ 61
資産合計	95,452	91,740

(注) 当期の有形固定資産の減価償却累計額39,876百万円

POINT①
現金及び預金・有価証券

自己株式の取得と配当金の支払により現金及び預金・有価証券が減少しました。

POINT②
建物及び構築物

5月末に竣工した「理想開発センター」を計上しました。

(負債の部)

(単位:百万円)

科 目	前期	当期
	平成25年3月31日	平成26年3月31日
流動負債	24,969	21,819
支払手形及び買掛金	11,149	9,560
短期借入金	2,839	2,615
一年内返済予定の長期借入金	2	2
その他	10,979	9,641
固定負債	4,448	5,117
長期借入金	35	33
退職給付引当金	3,807	-
退職給付に係る負債	-	4,589
その他	605	495
負債合計	29,418	26,936

(純資産の部)

(単位:百万円)

科 目	前期	当期
	平成25年3月31日	平成26年3月31日
株主資本	67,118	65,426
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	39,159	42,467
●自己株式	△ 935	△ 5,935
その他の包括利益累計額	△ 1,085	△ 622
その他有価証券評価差額金	249	343
為替換算調整勘定	△ 1,334	△ 169
退職給付に係る調整累計額	-	△ 796
純資産合計	66,033	64,804
負債純資産合計	95,452	91,740

POINT③
自己株式

当期は219万2千6百株(49億9千9百万円)の自己株式を取得しました。

(注)記載金額は、表示金額未満を切り捨てて表示しております。
この財務諸表は、主要な項目を表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前期	当期
	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日
売上高	75,455	83,938
印刷機器事業	73,864	82,358
日本	47,113	48,662
米州	4,834	5,728
欧州	12,274	16,191
アジア	9,642	11,777
不動産その他事業	1,590	1,579
売上原価	33,286	36,181
売上総利益	42,168	47,756
販売費及び一般管理費	37,258	41,168
営業利益	4,910	6,588
営業外収益	753	832
営業外費用	151	228
経常利益	5,512	7,192
特別利益	61	70
特別損失	555	144
税金等調整前当期純利益	5,018	7,119
法人税等	191	2,540
当期純利益	4,827	4,578

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前期	当期
	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	平成25年4月1日～ 平成26年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,287	4,393
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,174	△ 5,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,246	△ 6,814
現金及び現金同等物に係る換算差額	769	601
現金及び現金同等物の増減額	636	△ 7,032
現金及び現金同等物の期首残高	20,976	21,612
現金及び現金同等物の期末残高	21,612	14,580

POINT④ 売上高

前期に比べ売上が84億円増加しました。このうち為替影響額は58億円でした。

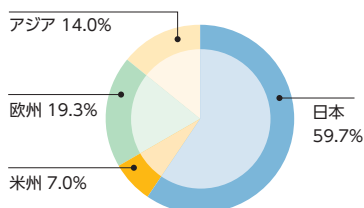
POINT⑤ 販売費及び一般管理費

為替影響や開発拠点の新設・移転のための費用が増加しました。

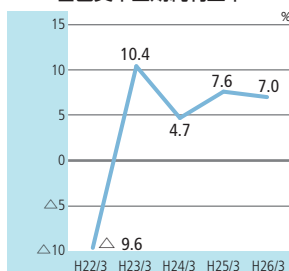
POINT⑥ 財務活動による キャッシュ・フロー

自己株式の取得による支出が増加しました。

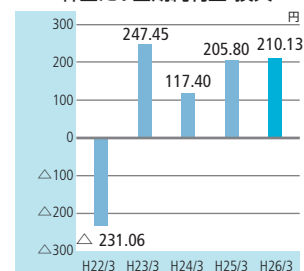
地域別売上高比率



自己資本当期純利益率



一株当たり当期純利益・損失





「ORPHIS EXシリーズ」 平成25年度 省エネ大賞を受賞

高速カラープリンター「ORPHIS EXシリーズ」(EX9050ほか全4機種)は、一般財団法人 省エネルギーセンターが主催する平成25年度 省エネ大賞(後援:経済産業省)の製品・ビジネスモデル部門において「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しました。

この賞は、国内の企業、工場・事業所等において省エネを推進している事業者及び省エネ性に優れた製品、ビジネスモデルを表彰するものです。

「ORPHIS EXシリーズ」は高い生産性と経済性を兼ね備え、低消費電力化、軽量薄紙への対応による環境負荷の低減を図っております。

自社展示会の開催や、 様々なフェア・イベントに出展

当社は、より多くのお客様に製品を体験いただくため、全国各地の様々なフェアやイベントへの出展、自社展示会の開催を行っております。

自社展示会は、昨年11月から本年3月にかけて「RISO Thanks Fair」を全国208カ所で開催。会場では、高速カラープリンター「ORPHIS EXシリーズ」やデジタル印刷機「リソグラフ」などを一堂に展示し、幅広い活用方法をご提案しました。

フェア・イベントでは、本年2月にJAGAT(日本印刷技術協会)が主催する「page2014」に出展しました。このイベントは、毎年6万人以上が来場する国内最大の印刷・出版関連の展示会です。オルフィスに『くるみ製本フィニッ



「ORPHIS EX9050」



平成25年度 省エネ大賞ロゴマーク

シャー』や『メーリングフィニッシャー』を接続したオンデマンド印刷のコーナーには多くのお客様が訪れ、高い関心が寄せられました。



東京・有楽町の国際フォーラムで開催された「RISO Thanks Fair」の様子

タイ新工場が完成、式典を実施

本年3月、タイ・アユタヤ県の当社製造子会社「RISO INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.」の新工場が完成し竣工を祝う記念式典を行いました。式典は僧侶を招いたタイの伝統的な様式で、100名を超える出席者のもと行われました。

タイでのリングラフ本体の生産は、これまでレンタル工場で行っていましたが、4月末より新工場での生産を開始しています。当社グループは、中国、タイの2カ国で製品の安定供給を図ってまいります。



「RISO INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.」
ロジャナ工場(タイ・アユタヤ県)

A2ワイドサイズ対応のデジタルスクリーン製版機『GOCCOPRO QS200』を新発売

当社は、デジタルスクリーン製版機「GOCCOPROシリーズ」の上位モデル『GOCCOPRO QS200』を開発、本年2月から世界各国での販売を開始しました。

同機は新たにA2ワイドサイズに対応。枠張りしたスクリーン原紙を本体にセットしパソコンのデータを直接製版するため、多版刷りの位置合わせも正確に行えます。

発売に先がけ、昨年10月に米国フロリダ州・オーランドで開催された印刷業向けの展示会「2013 SGIA Expo」に参考出品しました。来場者の方々からは「スクリーン印刷用の版が手軽にスピーディに製版できる」と評価いただきました。



デジタルスクリーン製版機
『GOCCOPRO QS200』

フィリピンの台風被害への救援金寄付を実施

当社は、昨年11月にフィリピン中部で発生した台風30号の甚大な被害に対し、被害者救済活動を支援するため、日本赤十字社を通じて100万円の救援金を寄付しました。



リソグラフの高生産性

「リソグラフ」は、ガリ版などの孔版印刷の原理を核に、当社独自の技術を融合させて開発したオフィス用のデジタル印刷機です。今回は、「リソグラフ」の低ランニングコストと印刷スピードについて紹介します。



「RISOGRAPH SE 938F」

多数枚を低ランニングコストで出力

孔版印刷の原理にデジタル技術を融合し、新次元の印刷システムを実現したリソグラフシステム。製版から印刷、インク供給、排版までが自動制御され、誰でもスピーディーに高精細な印刷物を出力できます。

「リソグラフ」は、まず始めに製版を行い、印刷のもととなる版(マスター)を作成。スクリーン状のマスターに原稿にそって微細な孔(あな)を開け、そこからインクを用紙に押し出し印刷します。1枚のマスターで約4,000枚の印刷が可能で、枚数が多くなるほど単価は下がり、低ランニングコストで大量印刷することができます。

毎分最高185枚※2の高速プリント

「リソグラフ」は、マスターを内部の印刷ドラムに自動で巻き付け、そのドラムを高速回転させることによって、最高で毎分185枚もの速度で印刷することができます。

1,000枚なら約5分半でプリントできる「リソグラフ」。チラシや教材も、効率よくスピーディーにプリントできます。

※1 A4・画像面積10%、同一原稿印刷時、RISOマスターEタイプHG使用。4,000枚プリント時のマスター代、インク代から算出。用紙代別。

※2 ハイスピードモード設定時。

多枚数プリントは リソグラフ

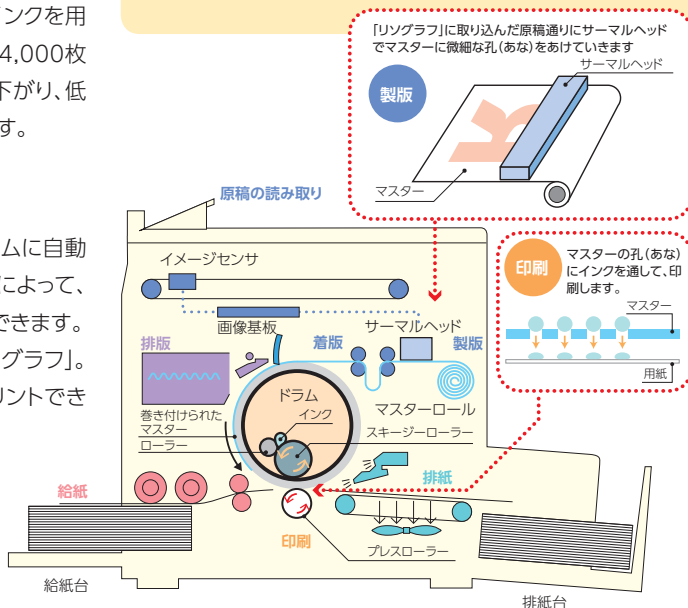
「RISOGRAPH SE 938F」で

4,000枚

プリントした場合、
1回あたりのコストは…

約500円※1

[1枚単価は0.12円]



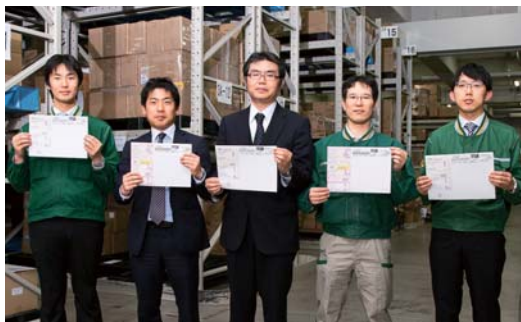


お客様事例ご紹介

オフィスやリソグラフをお使いいただいているユーザーの方々をご紹介するコーナーです。
今回は、ヤマトシステム開発株式会社新東京ロジスセンター様と株式会社アーツ様をご紹介します。

ORPHIS

大量帳票印刷のコストとスピードが大幅に改善



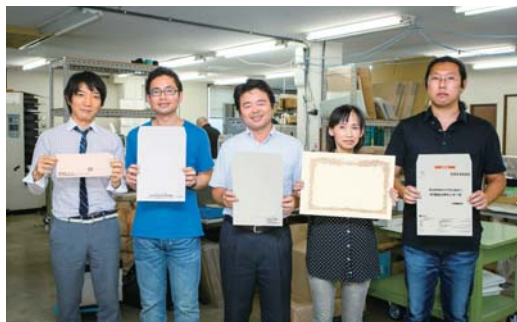
ヤマトシステム開発株式会社新東京ロジスセンター(東京都大田区)

ヤマトシステム開発株式会社新東京ロジスセンター様は、大手食品メーカーなど顧客からの委託により、通信販売商品の在庫管理と出荷業務を代行しています。様々な帳票の印刷用に『ORPHIS EX』が導入されました。

「ひと目みて、業務改善につながる最適なプリンターだと思いました」。展示会で『ORPHIS EX』を目にしたことが導入のきっかけと語る新東京ロジスセンターの担当者様。導入前は、レーザープリンター6台を使い約4名体制で、1日約6千件の帳票印刷業務を行っていたそうです。その内の3台を『ORPHIS EX』1台に入れ替えたところ、処理速度が上がり、2名体制で作業が完了するようになりました。コスト面でも、消耗品だけでなく、ハードのリース料やメンテナンス費用も含め約3割を削減。業務の効率化・コストの削減に大きく貢献しています。

RISOGRAPH

2色刷り封筒の印刷業務に大活躍



株式会社アーツ(大阪府吹田市)

株式会社アーツ様は、大阪のビジネス街・江坂に拠点を持つWeb通販専門の印刷会社。日本全国のお客様にきめ細やかなサービスを展開しています。競合他社の動きに目を配り努力をしなければ、すぐに差が出てしまう厳しいビジネス環境下、勝ち残るための戦略ツールとして『RISOGRAPH MD6650』を導入されました。主に2色刷りの封筒や表彰状などの印刷業務に大活躍しています。

導入前は「2色刷り封筒の印刷はすべて外注で、最小ロットは1,000枚、納期は3営業日必要。まずはこれを内製化することが課題でした」とアーツ様。今では、10枚から注文を受け付け、費用も安く、納期も翌日。2色を同時に印刷できる『RISOGRAPH MD6650』により、小ロット、コスト削減、納期短縮という3つの課題を同時に解決し、新たな顧客メリットを創出されたようです。

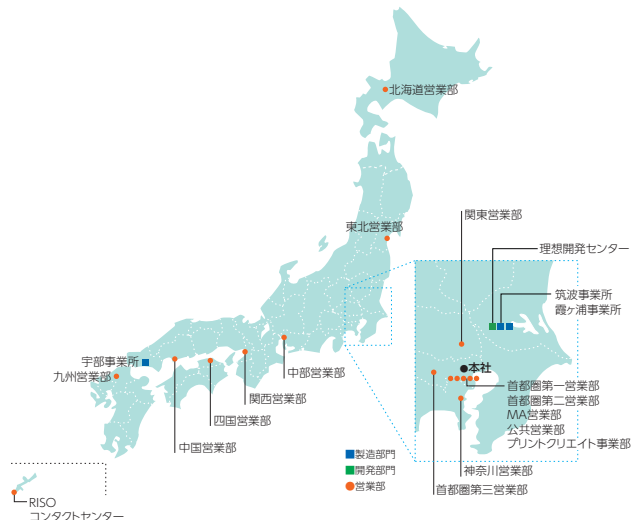


国内

当社の販売ネットワークは14営業部47支店及び販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。

国内3カ所の製造拠点では、オフィスのハードウェア・インク及びリソグラフのインク・マスターを生産しています。

開発部門は茨城県つくば市の「理想開発センター」に集約し、業務効率の向上を図り次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。



海外

当社は24の海外子会社を中心に、オフィス、リソグラフなどの販売や技術サポート、消耗品の供給を行っています。また、中国・広東省の深圳工場と珠海工場、タイ・アユタヤ県のロジャナ工場では、リソグラフハードウェアの生産を行っています。RISOグループ3,500名以上のスタッフが、様々な国の人たちとのコミュニケーションを大切に、多くのお客様をサポートしています。



● 海外の主な子会社

RISO, INC.
RISO CANADA INC.
RISO LATIN AMERICA, INC.
RISO de Mexico, S.A. de C.V.
RISO do Brasil Ltda.
RISO (U.K.) LTD.
RISO (Deutschland) GmbH
RISO FRANCE S.A.

RISO IBERICA, S.A.
RISOGRAPH ITALIA S.p.A.
RISO EURASIA LLC
RISO EURASIA KAZAKHSTAN LLC
RISO EURASIA UKRAINE LLC
RISO AFRICA (PTY) LTD.
理想工業 (香港) 有限公司
理想工業 (深圳) 有限公司

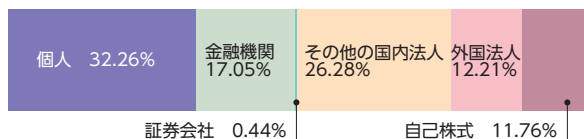
理想 (中国) 科学工業有限公司
理想 (上海) 印刷器材有限公司
RISO HONG KONG LTD.
RISO (Thailand) LTD.
RISO INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD.
RISO INDIA PRIVATE LTD.
RISO KOREA LTD.



株式の状況 (平成26年3月31日現在)

発行可能株式総数	67,840,000株 (前期末比 増減なし)
発行済株式の総数	23,703,166株 (前期末比 増減なし)
株主数	2,694名 (前期末比428名 減少)

株式数比率



大株主一覧(上位10人)	持株数(千株)	持株比率(%)
理想科学工業株式会社	2,787	11.76
有限会社理想社	2,470	10.42
公益財団法人理想教育財団	1,330	5.61
理想科学工業従業員持株会	987	4.16
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 東京都民銀行口再信託受託者資産管理 サービス信託銀行株式会社	783	3.31
羽山 明	611	2.58
羽山 治	597	2.52
羽山 尚	590	2.49
伊藤 真理子	585	2.47
あかつき興産株式会社	571	2.41

自己株式の取得について

当期中に取得した自己株式は下記のとおりです。

取得した株式数	2,192,600株
取得価格	4,999百万円



会社概要

商号	理想科学工業株式会社
本社	〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号
創業	昭和21年(1946年)9月2日
会社設立	昭和30年(1955年)1月25日
資本金	14,114,985,384円 <small>(平成26年3月31日現在)</small>
従業員数	1,744名(グループ全体 3,594名) <small>(平成26年3月31日現在)</small>
連結子会社	26社(国内2社 海外24社) <small>(平成26年3月31日現在)</small>

役員	代表取締役社長	羽山 明
	常務取締役	高橋 靖宏
	常務取締役	遠藤喜八郎
	取締役	高橋 康信
	取締役	池嶋 昭一
	取締役	成宮 慶臣
	取締役	上田 雅弘
	取締役	橋本総一郎
	取締役	氏家 直樹
	取締役	加野 敏明
	取締役	林 享史
	取締役	奥 総一郎*
	常勤監査役	山本研十郎
	常勤監査役	田澤 康男
	監査役	飯塚 良成*
	監査役	八田 進二*

(平成26年6月24日現在)

(注)*印は会社法第2条第15号及び第16号に定める社外取締役及び社外監査役です。

将来に関する記載等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発行日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次業務は三井住友信託銀行株式会社の の全国各支店で行っております。
公告掲載URL	http://www.riso.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によ って電子公告による公告ができない場 合は、日本経済新聞に掲載します。
理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル 電話 03-5441-6611

株主インフォメーション

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため当社が開設した特別口座にご所有の株式が記録された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金計算書について

配当金お支払いの際にご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。
ホームページアドレス <http://www.riso.co.jp/>



本株主通信は、環境にやさしい大豆インキと、FSC®認証紙を使用しております。

 理想科学工業株式会社

本社 / 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル